

令和5年度事業報告書

第1 基本財産

令和5年度末基本財産	3,940,161千円										
<table border="1"> <tr> <td>運営基金</td> <td>640,034千円</td> </tr> <tr> <td>助成基金</td> <td>3,300,127千円</td> </tr> <tr> <td> <table border="1"> <tr> <td>内訳</td> <td>保健福祉基金：2,300,000千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>子ども希望基金：1,000,127千円</td> </tr> </table> </td> <td></td> </tr> </table>	運営基金	640,034千円	助成基金	3,300,127千円	<table border="1"> <tr> <td>内訳</td> <td>保健福祉基金：2,300,000千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>子ども希望基金：1,000,127千円</td> </tr> </table>	内訳	保健福祉基金：2,300,000千円		子ども希望基金：1,000,127千円		
運営基金	640,034千円										
助成基金	3,300,127千円										
<table border="1"> <tr> <td>内訳</td> <td>保健福祉基金：2,300,000千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>子ども希望基金：1,000,127千円</td> </tr> </table>	内訳	保健福祉基金：2,300,000千円		子ども希望基金：1,000,127千円							
内訳	保健福祉基金：2,300,000千円										
	子ども希望基金：1,000,127千円										

※ 金額は、取得金額（基本財産元本）

第2 庶務の事項

1 役員・評議員構成

(令和6年3月31日現在、敬称略、五十音順)

役 職	氏 名	備 考
理 事 長 理 事	菊 池 正 勝	公益財団法人いきいき岩手支援財団理事長
	木 村 宗 孝	一般社団法人岩手県医師会副会長
	坂 口 繁 治	一般社団法人岩手県社会福祉士会長
	菅 原 和 彦	株式会社岩手日報社常勤監査役
	高 橋 進	社会福祉法人岩手県社会福祉協議会専務理事
	谷 藤 節 雄	公益財団法人岩手県体育協会副会長兼理事長
	藤 沢 清 美	一般社団法人岩手県芸術文化協会副会長
	松 村 達	岩手県保健福祉部副部長
監 事	熊 谷 俊 巳	元岩手県会計管理者兼出納局長
	三 河 春 彦	三河春彦税理士事務所所長
評 議 員	瀬 川 浩 昭	岩手県中小企業団体中央会専務理事
	相 馬 一 二 三	公益社団法人岩手県看護協会会長
	高 橋 和 佳 子	特定非営利活動法人参画プランニング・いわて理事
	廣 田 喜 之	盛岡市保健福祉部長
	触 沢 誉	葛巻町健康福祉課長
	米 田 ハ ツ エ	岩手県民生児童委員協議会副会長
	宮 寺 良 光	岩手県立大学社会福祉学部准教授
	村 田 東 助	一般財団法人岩手県老人クラブ連合会会長

2 理事会の開催状況

(1) 第52回理事会の開催及び決議の省略(定款第36条第2項)

- ① 理事会の決議があったものとみなされた事項
議案第1号 理事長の選定について
議案第2号 提案を可決する旨の理事会の決議があったものとみなす日
- ② 理事会決議のあったものとみなす事項の提案者 理事 高橋 進
- ③ 理事会決議のあったものとみなす日: 令和5年4月1日
- ④ みなし決議があった旨の理事会議事録作成者 理事長 菊池 正勝

(2) 第53回理事会の開催及び決議の省略(定款第36条第2項)

- ① 理事会の決議があったものとみなされた事項
ア 第45回評議員会の決議の省略に関する承認について
イ 第45回評議員会の議題
議案第1号 評議員の補欠選任について
議案第2号 提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす日
- ② 理事会決議のあったものとみなす事項の提案者 理事長 菊池 正勝
- ③ 理事会決議のあったものとみなす日: 令和5年4月19日
- ④ みなし決議があった旨の理事会議事録作成者 理事長 菊池 正勝

(3) 第54回理事会

- ① 開催日: 令和5年5月25日(木)
- ② 開催場所: 公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室
- ③ 議 事
議案第1号 令和4年度事業報告及び収支決算について
議案第2号 第46回評議員会の開催日程について

(4) 第55回理事会の開催及び決議の省略(定款第36条第2項)

- ① 理事会決議のあったものとみなされる事項
ア 第47回評議員会の決議の省略に関する承認について
イ 第47回評議員会の決議事項
議案第1号 理事の補欠選任について
議案第2号 提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす日
- ② 理事会決議のあったものとみなす事項の提案者 理事長 菊池 正勝
- ③ 理事会決議のあったものとみなす日: 令和5年6月29日

- ④ みなし決議があった旨の理事会議事録作成者 理事長 菊池 正勝

(5) 第 56 回理事会

- ① 開催日：令和 6 年 3 月 11 日(月)
- ② 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室
- ③ 議 事
 - 議案第 1 号 特定費用準備資金の設定について
 - 議案第 2 号 令和 5 年度補正予算について
 - 議案第 3 号 令和 6 年度事業計画及び収支予算について
 - 議案第 4 号 令和 6 年度資産運用計画について
 - 議案第 5 号 第 48 回評議員会の開催日程について

3 評議員会の開催状況

(1) 第 45 回評議員会の開催及び決議の省略（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条）

- ① 評議員会決議のあったものとみなされる事項
 - 議案第 1 号 評議員の補欠選任について
 - 議案第 2 号 提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす日
- ② 決議のあったものとみなす事項の提案者 理事長 菊池 正勝
- ③ 評議員会決議のあったものとみなす日：令和 5 年 5 月 1 日
- ④ みなし決議があった旨の評議員会議事録作成者 理事長 菊池 正勝

(2) 第 46 回評議員会

- ① 開催日：令和 5 年 6 月 22 日(木)
- ② 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室
- ③ 議 事
 - 議案第 1 号 令和 4 年度貸借対照表及び正味財産増減計算書並びにこれらの附属明細書、財産目録の承認について

(3) 第 47 回評議員会の開催及び決議の省略（一般社団法人及び一般財団法人に関する法律第 194 条）

- ① 評議員会決議のあったものとみなされる事項
 - 議案第 1 号 理事の補欠選任について
 - 議案第 2 号 提案を可決する旨の評議員会の決議があったものとみなす日

令和4年7月20日

- ② 決議のあったものとみなす事項の提案者 理事長 菊池 正勝
- ③ 評議員会決議のあったものとみなす日：令和5年7月14日
- ④ みなし決議があった旨の評議員会議事録作成者 理事長 菊池 正勝

(4) 第48回評議員会

- ① 開催日：令和6年3月26日(火)
- ② 開催場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室
- ③ 議 事
 - 議案第1号 特定費用準備資金の設定について
 - 議案第2号 令和5年度補正予算について
 - 議案第3号 令和6年度事業計画及び収支予算について
 - 議案第4号 令和6年度資産運用計画について

4 監事監査

- (1) 実施日：令和5年5月16日(火)
- (2) 実施場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室
- (3) 監査事項：令和4年度事業実施状況及び収支決算について

5 監事による会計指導

- (1) 令和5年度上半期会計に関する指導
 - ① 実施日：令和5年7月14日(金)
 - ② 実施場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室
 - ③ 指導事項：令和5年度上半期の会計状況の確認及び指導
インボイスへの対応に関する指導
- (2) 令和5年度下半期会計に関する指導
 - ① 実施日：令和5年12月15日(金)
 - ② 実施場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室
 - ③ 指導事項：令和5年度下半期の会計状況の確認及び指導

6 立入検査（法人の運営組織及び事業活動の状況に関する立入検査）

- (1) 実施日：令和5年7月27日(木)
- (2) 実施場所：公益財団法人いきいき岩手支援財団研修室

(3) 検査機関：岩手県総務部行政経営推進課

(4) 検査事項：法人の運営及び事業、会計

7 全国明るい長寿社会づくり推進機構関係

(1) 令和5年度第1回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

① 開催日：令和5年7月4日（火）（集合とZoomのハイブリッド型開催、会場参加）

② 内 容：令和4年度事業報告及び決算報告、令和5年度の実施事業について

(2) 令和5年度第2回全国明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会総会

① 開催日：令和6年2月28日（水）（集合とZoomのハイブリッド型開催、Zoom・会場参加）

② 内 容：令和6年度事業計画（案）及び収支予算（案）についてほか

(3) 北海道・東北ブロック明るい長寿社会づくり推進機構連絡協議会

① 開催日：令和6年1月25日（木）、26日（金）（山形市）

② 内 容：全推連事業の実施状況等について、令和6年度の予算措置状況について、情報交換

第3 実施事業

※【 】内数値は令和4年度実績

I 高齢者等健康生きがづくり支援・福祉サービス推進事業(公益事業)

高齢者等が健康で生き生きと暮らすことができる地域社会の形成及び保健・医療・福祉サービス等の質の向上に寄与する事業

1 少子高齢社会に対応する民間・地域等の取組み支援(自主事業)

(1) 「いわて保健福祉基金」助成事業(継続)

保健福祉又は地域福祉の増進を図るため、民間団体等が実施する先駆的、先導的な事業や高齢者の社会貢献活動に対して助成した。

ア 一般枠分

17事業 14,376千円 【23事業 24,311千円】

① 在宅保健福祉普及向上事業

4事業 4,049千円 【5事業 7,347千円】

② 健康、生きがづくり推進事業

9事業 5,719千円 【11事業 10,218千円】

③ ボランティア活動活性化事業

0事業 0円 【0事業 0千円】

④ その他の事業

4事業 4,608千円 【7事業 6,746千円】

イ 特別枠分(ご近所支え合い活動助成分)

19事業 2,654千円 【16事業 2,177千円】

(2) 「いわて子ども希望基金」助成等事業(継続)

子育て支援や子どもの健全育成など、少子化対策の推進を図るため、民間団体等が実施する先駆的、先導的な事業に対して助成した。

① 地域子育て活動支援事業

32事業 10,660千円 【30事業 9,836千円】

② i・出会い応援事業

13事業 3,566千円 【9事業 2,373千円】

③ 子育てにやさしい職場環境づくり助成事業

35団体 5,250千円 【33団体 8,352千円】

④ 経営者等セミナー開催事業

個々の価値観や生活、その時々事情に合わせて自身の働き方を選択できる社会が求められる中、医療的ケアが必要な子どもや介護を必要とする家族を支える当事者家族に焦点を当て、当事者家族が社会で働くことの意味や彼らの雇用を支えることの「当り前さ」について考えた。

12月22日 岩手県立大学滝沢キャンパス講堂 参加者 100人【62人】

※ 一般来場及びZoomウェビナーによるハイブリッドセミナーとして開催

2 少子高齢社会に関する調査研究及び普及啓発（自主事業）

（1） 調査研究事業（継続）

「医療的ケア児を育てる女性の仕事や社会に関する意識調査」

医療的ケア児の主たる介護者の94.0%は女性（母親）であるという調査結果を受け、医療的ケア児を育てる女性にとって「社会とのつながり」はどのように確保されているのか、「しごと」がその手段となり得るのかを明らかにするために調査を行った。

〔調査1〕 医療的ケア児を育てながら働く女性を対象としたインタビュー調査

実施期間：令和5年8月～11月

〔調査2〕 〔調査1〕や先行研究を参考にした上で、医療的ケア児を育てる女性（就業中、離職中、休業中の方）を対象としたアンケート調査

実施期間：令和5年11月～12月

（2） 普及啓発事業（継続）

情報誌の発行、インターネット及び広報媒体の活用により、少子高齢社会に対する県民の理解と関心を深めるための啓発活動を行った。

ア 情報誌「いきいきイーハトーブ」の発行（ホームページ掲載）

4回：6月（第41号）、10月（第42号）、12月（第43号）、3月（第44号）

イ ホームページの随時更新による最新情報提供

ホームページのアクセス数： 65,787件【76,569件】

3 高齢者等の健康の保持増進と生きがいの高揚推進（県補助事業）

（1） 明るい長寿社会づくり推進事業（継続）

高齢者の健康の保持と生きがいの高揚を図るため、岩手県長寿社会健康と福祉のまつりの実施や第35回全国健康福祉祭（ねんりんピック）への選手派遣等を行った。

ア 第35回岩手県長寿社会健康と福祉のまつり事業

猛暑の影響により、予定していた各大会のうち4種目が中止となった。

種 目 区 分	開 催 期 日	開 催 場 所 等	参 加 者 数
県 民 長 寿 文 化 祭	作品展	R5. 6. 2(金) ～4(日)	盛岡市民文化ホール (出展数 131 点) 412 人 【394 人】
	囲碁大会	R5. 12. 10(日)	岩手教育会館 58 人 【65 人】
	将棋大会	R5. 7. 9(日)	北上将棋センター 66 人 【70 人】
	小 計		536 人 【529 人】
県 民 長 寿 体 育 祭	スポーツ交流 大会(7種目)	R5. 6. 5(月)～ R5. 11. 12(日) ※2 種目(弓道、剣道) 中止	盛岡市、花巻市、 金ケ崎町 775 人 【844 人】
	ふれあいスポ ーツ交流大会 (2種目)	R5. 6. 14(水)～ R5. 9. 17(日) ※2 種目(太極拳、ハウ ンドテニス)中止	北上市、一戸町 346 人 【331 人】
	小 計		1, 121 人 【1, 175 人】
合 計			1, 657 人 【1, 704 人】

イ 第 35 回全国健康福祉祭えひめ大会参加推進事業

10 月 28 日 (土) から 10 月 31 日 (火) まで愛媛県で開催された全国健康福祉祭 (ねりんピック) へ選手派遣等を行った。

総派遣者数 164 人 (選手・監督等 158 人、役員・事務局等 6 人)

派遣種目 21 種目

○スポーツ交流大会(10 種目)

卓球、テニス、ソフトテニス、ソフトボール、ゲートボール、ペタンク、ゴルフ、マラソン、弓道、剣道

○ふれあいスポーツ交流大会 (8 種目)

ウォークラリー、グラウンド・ゴルフ、ラグビーフットボール、水泳、サッカー、ソフトバレーボール、スポーツウエルネス吹矢、ダンススポーツ

○文化交流大会 (3 種目)

囲碁、将棋、健康マージャン

※俳句交流大会は、事前投句により選手団としての派遣は行わない。

大会の主な成績（入賞者/チーム）

○個人競技

出場種目	成績	選手名（居住地）
マラソン（5km・70歳以上・女子）	2位	菊池 敦子（花巻市）
マラソン（3km・70歳未満・男子）	3位	千葉 義浩（奥州市）
マラソン（10km・70歳以上・男子）	3位	松村 正行（滝沢市）
水泳（50m・自由形・男・70～74歳）	2位	西川 勝夫（盛岡市）
水泳（25m・自由形・男・70～74歳）	4位	
ダンススポーツ（タンゴ）	2位	千葉英明、千葉順子ペア （盛岡市）
ダンススポーツ（ワルツ）	5位	
囲碁	全勝賞	齋藤 みき子（盛岡市）

○団体競技

出場種目	成績	チーム名
ゴルフ	9位（優秀賞）	岩手わんこチーム
ダンススポーツ	4位（優秀賞）	フレッシュ岩手
スポーツウエルネス吹矢	男子の部・6位	岩手Aチーム
将棋	ベスト8（優秀賞）	岩手
ウォークラリー（みきゃんコース）	6位	銀河鉄道9999

○美術展

部門（作品名）	成績	氏名（居住地）
洋画（神の馬）	銅賞	菊池 洋（奥州市）
書（蔣土銓詩）	銅賞	工藤 由美子（盛岡市）

4 高齢者等への総合的な支援

岩手県高齢者総合支援センター運営事業（継続、県委託事業）

（※ 当センターは県が平成21年度に設置し、当財団が運営を受託している。）

（1）総合相談事業

① 一般相談

高齢者の生活全般に係る電話及び来所相談に支援相談員が対応した。

月・水・金曜日の9時から17時まで実施 相談件数 778件【1,907件】

② 専門相談

弁護士による専門性の高い法律、認知症介護経験者による認知症の相談を実施した。

毎月 2 回 相談件数 55 件【102 件】

③ 地域包括ケア相談支援

地域包括支援センター職員からの相談に社会福祉士、保健師、介護支援専門員が対応した。また、高齢者の権利擁護相談には、弁護士会及び社会福祉士会の専門家の協力を得てチームで対応した。 相談件数 288 件【203 件】

(2) セミナー開催事業

高齢者権利擁護セミナーの開催

高齢者の権利を守るために活用できる制度を学ぶとともに、一人ひとりが暮らしの中で出来ることを考える機会とするための普及啓発を行った。

11 月 30 日 (木) 岩手教育会館 参加者 120 人【126 人】

(3) 認知症の本人、家族の支援に資する事業

認知症の正しい知識と理解の普及啓発や認知症の人及び家族への支援を行った。

ア 認知症の本人及び家族向け電話相談

平成 24 年 4 月に設置した「いわて認知症の人と家族の電話相談」(フリーダイヤル 0120-300-340) の運営を認知症の人と家族の会に委託して実施した。 相談件数 112 件【117 件】

イ 地域交流集会

認知症の人や家族等を対象とした「つどい」を県内 10 市町村 10 地区で開催した。 110 回 参加者 1,299 人【107 回 参加者 1,143 人】

ウ 認知症サポーター事務局の運営

- ・ 認知症キャラバン・メイト養成研修 1 回 修了者数 76 人
【1 回 修了者数 56 人】
- ・ 認知症サポーター養成講座の実施 18 回 受講者数 447 人
【12 回 受講者数 265 人】
- ・ チームオレンジコーディネータ研修 2 回 37 人 【1 回 27 人】

5 高齢者を支援する者の資質の向上を図るための研修事業 (継続、県委託事業)

(1) 地域包括支援センター等への支援研修

高齢者介護や相談等に必要な専門知識・技術を習得するための研修を実施し、高齢者への総合的な支援を行った。

- ア 地域包括支援センター職員キャリア別研修 3 回 140 人【-回 -人】
- イ 地域包括支援センター職員職種別研修 3 回 152 人【-回 -人】

ウ 総合相談支援研修	1回 65人【-回 -人】
エ 権利擁護研修	2回 125人【4回 176人】

(2) 福祉用具・住宅改修に関する研修

要介護者等が生活の維持・改善が図られるよう、介護ロボットの理解、福祉用具の選定・活用方法及び住宅改修を含むケアプラン作成手法等に関する知識、技術を習得するための研修を実施した。

福祉用具・住宅改修研修	1回 81人【4回 131人】
-------------	-----------------

(3) 福祉用具・介護ロボット実用化支援事業（未実施）

＜介護ロボット推進プラットフォーム構築事業に替える＞

(4) 介護ロボット導入支援事業（未実施）

＜介護ロボット推進プラットフォーム構築事業に替える＞

(5) 介護ロボット推進プラットフォーム構築事業（国委託事業）

介護ロボットの開発から導入活用までの総合的な相談を受け付ける窓口（プラットフォーム）を設置し、介護ロボットの活用推進を図る。株式会社NTTデータ経営研究所から委託を受けて実施した。

① 相談窓口の設置	ニーズ 57件 シーズ 47件	【ニーズ 36件 シーズ 30件】
② 介護ロボット体験展示	16点 481人	【13点 体験者数 509人】
③ 介護ロボット試用貸出	貸出件数 21件	【貸出件数 16件】
④ 介護ロボット研修会の開催	3回 241人	【3回 61人】
⑤ 介護ロボットオンラインミニセミナー	2回	【-回 -人】
⑥ 業務アドバイザーによる伴走支援	3施設	【3施設】
⑦ 介護ロボット協議会の開催	2回	【1回】

(6) 認知症介護に関する研修事業

認知症介護サービスを提供する管理者や介護従事者等に対し、認知症介護の質の向上を図るための研修を実施した。

修了者数: 1,475人【754人】

① 認知症対応型サービス事業開設者研修	1回 10人【1回 7人】
② 認知症対応型サービス事業管理者研修	2回 68人【1回 62人】
③ 小規模多機能型サービス等計画作成担当者研修	1回 18人【1回 34人】
④ 認知症介護実践者研修	3回 278人【3回 258人】

- | | |
|---------------------|----------------|
| ⑤ 認知症介護実践リーダー研修 | 1回 76人【1回 61人】 |
| ⑥ 認知症介護基礎研修（eラーニング） | 1,025人【 332人】 |

（7） 身体拘束に関する研修事業

介護保険施設等の職員を対象とし、身体拘束廃止・虐待防止に向けた啓発を図るための研修を実施した。

- | | |
|------------------------------|----------------|
| ① 権利擁護推進員養成研修 | 1回 30人【1回 29人】 |
| 身体拘束廃止等の取り組みの指導的立場の職員を対象に実施 | |
| ② 権利擁護看護実務者研修 | 1回 27人【1回 32人】 |
| 医療的な観点から身体拘束廃止等に取り組む職員を対象に実施 | |

（8） 地域づくりによる介護予防推進支援事業

市町村支援体制の整備に向けた普及啓発及び地域づくりアドバイザー派遣等を実施した。

- | | |
|--------------------|----------------------|
| ① 介護予防事業情報交換会 | 2回【2回】 |
| ② 情報収集及び情報提供 | 8回【29回】 |
| ③ 地域づくりアドバイザー会議の開催 | 3回【3回】 |
| ④ 地域づくりアドバイザー派遣等 | 14市町村 29回【23市町村 63回】 |

（9） 地域包括ケアシステム基盤確立事業

市町村の地域包括ケアシステム構築の推進を支援するため、必要な人材の養成を図るとともに、関係者間の情報交換や専門的支援を実施した。

① 認知症施策推進事業

認知症地域支援推進員の養成と資質向上を図るとともに、関係者の連携やネットワーク構築を図るための研修会及び連絡会を開催した。

- | | |
|---------------------|----------------|
| ア 認知症地域支援推進員養成研修会 | 1回 33人【1回 30人】 |
| イ 認知症地域支援推進員活動促進研修会 | 1回 45人【1回 54人】 |
| ウ 認知症地域支援推進員連絡会 | 1回 38人【1回 31人】 |
| エ 認知症ケア向上支援連絡会 | 1回 43人【1回 30人】 |

② 生活支援体制整備事業

市町村に配置される生活支援コーディネーターの円滑な活動を支援するため、研修会及び連絡会を開催した。

- | | |
|---------------------|----------------|
| ア 生活支援コーディネーター養成研修会 | 1回 33人【1回 36人】 |
| イ 生活支援体制運営研修会 | 1回 50人【1回 28人】 |

ウ 生活支援コーディネーター連絡会	1回	40人	【1回	41人】
エ テーマ別研修（移動支援）	1回	40人	【-回	-人】
オ 生活支援コーディネーター現地研修会	2回	44人	【2回	54人】

③ リハビリテーション専門職参画促進事業

住民主体の通いの場や地域ケア会議へのリハビリテーション専門職の参画を推進するため、研修会及び連絡会を開催した。

ア 介護予防に参画するリハビリテーション専門職育成研修会	1回	22人	【-回	-人】
イ 地域ケア会議に参画するリハビリテーション専門職育成研修会	1回	49人	【-回	-人】
ウ リハビリテーション専門職等連絡会	1回	28人	【-回	-人】

④ アドバイザー等派遣事業

市町村の地域ケア会議や生活支援体制整備、認知症ケア向上等に関し、課題解決に苦慮する市町村等に対しアドバイザーや弁護士等の専門職を派遣した。

ア 地域ケア推進会議に係るアドバイザー派遣	1市町村	1回	【-市町村	-回】
イ 地域ケア個別会議に係るアドバイザー派遣	2市町村	4回	【-市町村	-回】
ウ 地域ケア個別会議に係る専門職派遣	5市町村	6回	【-市町村	-回】
エ 生活支援体制、認知症ケアに係るアドバイザー派遣	4市町村	5回	【-市町村	-回】

⑤ その他地域包括ケアシステム構築に資する事業

ア 市町村が解決に苦慮する課題等に係る個別ヒアリングの実施	26市町村	【-市町村】
イ 圏域単位での意見交換・情報共有の実施	2圏域	【-圏域】

6 介護支援専門員の養成を行う事業（継続）

(1) 介護支援専門員実務研修受講試験（自主事業）

介護支援専門員となるためには、「介護支援専門員実務研修」の受講が義務付けられており、その受講者を決定するに当たり、必要な専門知識（介護保険制度、要介護認定等、居宅サービス計画等）を有していることを確認するための試験を実施した。

① 実施日：令和5年10月8日（日）

② 受験者数：635人【588人】、合格者数：108人【92人】、合格率：17.0%【15.6%】

(2) 介護支援専門員実務研修・現任研修等実施事業（県補助事業及び自主事業）

① 介護支援専門員実務研修事業

介護支援専門員実務研修受講試験に合格した者を対象に研修を実施した。

ア 実施時期：12月～3月 88時間

イ 修了者数：1回 103人【1回 115人】

② 介護支援専門員更新研修・再研修

実務未経験者で介護支援専門員証を更新する者及び介護支援専門員証を失効した後、再交付を希望する者を対象に研修を実施した。

ア 実施時期： 5月～7月 54時間

イ 修了者数： 1回 149人【1回 261人】

③ 介護支援専門員専門研修事業（実務経験者の更新研修と同時開催）

介護支援専門員の専門性を高めるため、必要な専門知識、技能の研修を実施した。

ア 専門研修課程Ⅰ（同内容の更新研修を含む）

・ 実施時期： 6月～7月 56時間

・ 修了者数： 1回 87人【1回 126人】

イ 専門研修課程Ⅱ（同内容の更新研修を含む）

・ 実施時期： 9月～11月 32時間

・ 修了者数： 3回 294人【4回 460人】

④ 主任介護支援専門員研修事業

介護サービス提供者との連絡調整、他の介護支援専門員に対する助言・指導などケアマネジメントが適切かつ円滑に提供されるために必要な業務に関する知識及び技術を修得するための研修を実施した。

ア 実施時期： 8月～12月 70時間

イ 修了者数： 2回 101人【2回 73人】

⑤ 主任介護支援専門員更新研修

主任介護支援専門員の継続的な資質向上を図るための定期的な研修機会を確保し、主任介護支援専門員の能力の保持向上を図った。

ア 実施時期： 6月～9月 46時間

イ 修了者数： 2回 160人【2回 248人】

7 介護サービス情報を公表する事業（継続、県委託事業）

介護保険法第115条の42に基づく指定情報公表センターとして、県が策定する計画に基づき、介護サービス情報の報告の受理に関する事務、介護サービス情報の公表に関する事務等を実施した。 情報公表実施件数 2,323件【2,719件】

8 結婚新生活支援連携事業（県委託事業）

結婚新生活支援事業による補助金交付を希望する新婚夫婦等を対象として、結婚、妊娠・出産、子育てに仕事との両立を含めた結婚後の将来のライフプランを構築していくために必要な知識・情報を提供するセミナーを実施したほか、婚活前の若年層を対象とするセミナーを開催した。

(1) ライフプランセミナー（新婚夫婦対象）

①実施回数

12回（令和5年5月～令和6年3月）

※ 会場受講とオンラインとの併催又はオンラインによる録画配信

②受講者数

342人（うち補助金申請に必要な「受講証」発行者数330人）【254人、受講証227人】

(2) 未婚者向けセミナー

①開催日時等

令和6年1月28日（日）14:00～15:30、（盛岡市・農林会館）

②受講者数

15人（会場参加9人、オンライン参加6人） 【18人、会場6人、オンライン12人】

II “いきいき岩手”結婚サポートセンター運営事業（その他事業）（継続、県・市町村等の負担事業）

県内の結婚を望む人を支援するため、岩手県、県内全市町村、関係6団体と連携して、“いきいき岩手”結婚サポートセンター「i-サポ」の運営を行い、盛岡、宮古及び奥州の3センター体制で、マッチングシステム等による結婚支援を行う事業

1 マッチング事業の実施結果 ※（ ）は設立時からの累計数

- 会員登録者数 1,034人（4,039人）
- お見合い件数 422件（3,219件）
- 交際件数 228件（1,655件）
- 成婚数 26組（146組）
- 成婚者総数 会員同士の成婚 52（292）人、会員以外との成婚 13（109）人、
合計 401人

2 出張サービス「お出かけi-サポ」の実施結果

- 釜石市 24回 利用件数 38件【46件】
- 久慈市 24回 利用件数 40件【28件】
- 二戸市 24回 利用件数 34件【32件】
- 一関市 24回 利用件数 37件【49件】
- このほか、上記定期実施会場以外の市町村からの要請に基づき、延べ5回の「臨時

おでかけ i-サポ」を実施し、新たに 5 人の会員登録があった。

3 入会登録料無料キャンペーンの実施

令和 5 年 8 月～10 月に入会登録料無料キャンペーンを初めて実施し、計 446 人（男性 270 人、女性 176 人）の登録者があった。

期間中の新規入会者数の月平均は 91.3 人で、令和 4 年度の新規入会者数の月平均 27.0 人の約 3.3 倍となった。

4 情報発信

(1) ホームページ及びツイッターの運営

- メールマガジン会員（572 人）に対し、i-サポ出会い応援団（69 団体）が行う婚活イベント情報等の発信を行った。
- またホームページやツイッターを活用し、婚活イベント情報のほか、街の話題など、お見合いや交際の参考として活用可能な情報の発信に努めた。

(2) 広報、広告等の取組

- 企業訪問による i-サポの周知
- 地域誌 AREA i 増刊「いわて女子目線 2 (SECOND)」広告記事掲載（令和 5 年 5 月）
- 県内コンビニエンスストアへのリーフレット配架（令和 5 年 9 月）
- 入会登録料無料キャンペーンの WEB 広告（令和 5 年 8 月～10 月）

5 地域連携事業（県・市町村・主要団体との連携）

- 県南広域振興局及び県北広域振興局主催の会議において、参加市町村・関係団体に i-サポの取組状況を説明し、住民・会員等への周知や入会促進を依頼した。
- 県主催婚活イベント（年 4 回）、沿岸広域振興局婚活イベント（年 2 回）及び県北広域振興局婚活イベント（年 2 回）において、i-サポの説明を行い、入会登録の働きかけを行った。